



大阪取引所・東京商品取引所データ提供
(デリバティブ商品情報ファイル伝送サービス)

ギブアップ数量等通知ファイル仕様書

version 2.6

適用開始日：2023 年 11 月 6 日

株式会社 JPX 総研

目次

1. 目的	1
2. 提供情報の概要	1
2.1. 内容	1
2.2. 提供サイクル・提供時間	1
2.3. 提供回線・提供プロトコル	1
3. ファイル仕様	2
4. 提供内容	2
4.1. 提供レコード	2
4.2. データ項目	3
5. 本仕様書に関するお問合せ	6
6. 改版履歴	7

1. 目的

本仕様書は、JPX 総研による情報提供サービスにおいて「ギブアップ数量等通知ファイル」をご利用する際に必要な事項を取りまとめたものです。

ユーザーシステムと、本サービスを提供する情報配信システムとの接続については、「JPX 総研 情報配信システム接続仕様書」をご参照ください。

2. 提供情報の概要

2.1. 内容

大阪取引所における先物取引及びオプション取引並びに東京商品取引所における先物取引の日々のギブアップ数量等通知情報を提供します。

2.2. 提供サイクル・提供時間

毎営業日の 22:00 にファイル提供を行います。

(提供時間帯は個別に調整し取り決め事項としてご連絡いたします)

2.3. 提供回線・提供プロトコル

当ファイルの提供回線・提供プロトコルは下表のとおりです。

	全銀 TCP/IP	FTP	SFTP
インターネット		×	○
arrownet	○	○	

○ 提供可能 × 提供不可能

3. ファイル仕様

- 文字コード

ShiftJIS となります。

- レコードサイズ

175 バイト

- 項目長

ファイルの各項目は固定長です。

4. 提供内容

4.1. 提供レコード

提供日当日取引分（前営業日のナイトセッション取引から当日の日中取引に係る取引分）に係る、成立済みギブアップ・テイクアップの集計情報を提供します。取消分のギブアップ・テイクアップ数量も合算した値となります。

例): 清算参加者 A が成立したギブアップ数量 10 に対して、当該ギブアップの取消分として、反対のテイクアップ数量 10 を行った場合は、「ギブアップ数量」に「10」、「テイクアップ数量」に「10」を設定

4.2. データ項目

(1) 銘柄レコード

項番	項目名	バイト数	種別	内容
1	レコード区分	1	C	レコード区分を設定する。 ‘2’：データ
2	ファイル識別	3	C	ファイル識別を設定する。 ‘016’：ギブアップ数量等通知ファイル
3	取引日付	8	C	取引日を設定する。 (YYYYMMDD形式)
4	商品取引識別	2	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
5	ポスト区分	3	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
6	種類コード	2	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
7	取引参加者コード	5	C	取引参加者コードを設定する。
8	清算参加者コード	5	C	取引日時点の清算参加者コードを設定する。
9	取引所コード	3	C	取引所コードを設定する。 ‘OSE’：大阪取引所 ‘TCM’：東京商品取引所
10	商品グループ群コード	3	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
11	商品グループコード	6	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
12	商品コード	10	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
13	プロダクトタイプコード	3	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照

項番	項目名	桁数	種別	内容
14	限月（回記号コード）	8	C	<p>(1) (西暦) 4 桁+限月（2 桁）+00（2 桁）を設定する。</p> <p>(2) 日経 225 ミニオプションについては、(西暦) 4 桁+以下の仕様の 2 桁）+00（2 桁）を設定する。</p> <p>3, 4 桁目については、各年の第一金曜日の前営業日を取引最終日とする限月取引を「01」とし、以後、1 ずつ加算する値とする。</p> <p>2024 年 1 月第 1 週の場合 →「20240100」 2024 年 1 月第 2 週の場合 →「20240200」※ 2024 年 1 月第 3 週の場合 →「20240300」 2024 年 1 月第 4 週の場合 →「20240400」 2024 年 2 月第 1 週の場合 →「20240500」 2024 年 2 月第 2 週の場合 →「20240600」※ （※取引開始順ではなく、満期の早い順に限月が 1 ずつ加算される。）</p> <p>(3) フレックス先物銘柄及びフレックスオプション銘柄の場合、 (西暦) 4 桁+限日となる日付（4 桁）を設定する。</p> <p>(4) 商品先物の限日取引については、20791200 を設定する。</p>
15	予備コード	1	C	空白を設定する。
16	商品タイプ	3	C	<p>商品タイプを設定する。</p> <p>‘PUT ‘：プット ‘CAL ‘：コール ‘OTH ‘：その他</p>
17	権利行使価格	18	C	<p>権利行使価格を設定する。</p> <p>（前ゼロ、右詰、整数部 12 桁、小数部 6 桁）</p> <p>オプション銘柄の場合、権利行使価格を設定する。</p> <p>オプション銘柄以外の場合は、オールゼロを設定する。</p> <p>【単位】</p> <p>・TOPIX オプション、JPX 日経インデックス 400 オプションの場合：ポイント・上記以外の場合：円</p>
18	銘柄コード	9	C	銘柄コードを設定する。
19	自己委託区分	3	C	<p>自己委託区分を設定する。</p> <p>‘SEL ‘：自己 ‘CON ‘：委託</p>

項番	項目名	バイト数	種別	内容
20	売買区分	3	C	売買区分を設定する。 ‘S E L ‘：売り ‘B U Y ‘：買い
21	サインフラグ	1	C	次項目の符号情報を設定する。 ‘+ ‘：正 空白 ：ゼロ
22	当日約定数量	18	C	当日約定数量を設定する。 (前ゼロ、右詰) 売買システム (J-GATE) で成立した約定数量の合計
23	サインフラグ	1	C	次項目の符号情報を設定する。 ‘+ ‘：正 空白 ：ゼロ
24	ギブアップ数量	18	C	ギブアップ数量を設定する。 (前ゼロ、右詰)
25	サインフラグ	1	C	次項目の符号情報を設定する。 ‘+ ‘：正 空白 ：ゼロ
26	テイクアップ数量	18	C	テイクアップ数量を設定する。(前ゼロ、右詰)
27	サインフラグ	1	C	次項目の符号情報を設定する。 ‘+ ‘：正 空白 ：ゼロ
28	差引数量	18	C	差引数量 (当日約定数量－ギブアップ数量＋テイクアップ数量) を設定する。 (前ゼロ、右詰)

5. 本仕様書に関するお問合せ

(株)JPX 総研 クライアントサービス部

電話:050-3377-7831

E-mail : tminfo@jpx.co.jp

6. 改版履歴

日付	バージョン	内容
2014 年 2 月 5 日	1.00	初版
2014 年 6 月 30 日	1.01	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記載内容の改善 ・ 項番 17 <p>「権利行使価格」に以下の内容を追記 オプション銘柄の場合、権利行使価格を設定する。 オプション銘柄以外の場合は、オールゼロを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」 <p>以下の種類コードを変更 CNX Nifty 先物 変更前：” FM”、変更後：” FG” 日経平均・配当指数先物 変更前：” FG”、変更後：” FM”</p> <p>廃止商品「日経 300 先物」を削除 新規商品「JPX 日経インデックス 400 先物」を追加</p>
2015 年 5 月 25 日	1.02	別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」 日経 225Weekly オプションの記載を追加
2015 年 5 月 25 日	1.03	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項番 14「限月」 <p>項目名を「限月」から「限月（回記号コード）」に変更 変更前： 限月（限月コード（西暦）6桁＋00（2桁））を設定する。 変更後： 限月（限月コード（西暦）4桁＋限月※（2桁）＋00（2桁））を設定する。 ※日経平均株価を対象とした～（略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 項番 17「権利行使価格」 <p>変更前： 【単位】 ・ 有価証券オプション：円 ・ 国債先物オプションの場合：円（銭の位は小数部で表記） ・ 上記以外（指数オプション）の場合：ポイント</p> <p>変更後： 【単位】 ・ TOPIX オプションの場合：ポイント ・ 上記以外の場合：円</p>

日付	バージョン	内容
2016 年 7 月 19 日	1. 04	<p>・ 別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」 以下の商品分類を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> - 東証マザーズ指数先物 - JPX 日経インデックス 400 オプション - 加権指数先物 - FTSE 中国 50 先物 <p>以下の商品分類の名称を変更 変更前：CNX Nifty 先物 変更後：インド Nifty50 先物</p>
2017 年 11 月 10 日 公表 (2018 年デリバティブ清算刷新PJ稼働（本番稼働予定日：2018 年 2 月 13 日）適用予定)	1. 05 (確定版)	<p>・ 4. 1. 提供レコード において、取消分のギブアップ・テイクアップ数量も合算した値となること、フレックスオプション銘柄は収録対象外である旨を追記</p> <p>・ 項番 14「限月(回記号コード)」 において週次設定限月取引の場合の誤記を修正 変更前： 2015 年 1 月第 2 週の場合 →「20154100」 変更後： 2015 年 1 月第 3 週の場合 →「20154100」</p> <p>・ 項番 17「権利行使価格」 において JPX 日経インデックス 400 オプションの場合の単位を追記</p>
2019 年 10 月 31 日 公表 (OSE 新商品情報配信対応（本番稼働予定日：2020 年 7 月 27 日）適用予定)	2. 0	<p>・ 新商品追加に伴い、別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」を更新。</p> <p>・ 4. 2. データ項目(1)銘柄レコード 項番 14 「限月(回記号コード)」において、限日取引についての記載を追加。</p>
2020 年 8 月 17 日	2. 1	<p>・ 4. 1. 提供レコード TOPIX 配当指数先物等の取引休止対応について、記載を追加。</p>

日付	バージョン	内容
2020 年 12 月 30 日 公表 (J-GATE3.0 対応 及び TOCOM 商品追 加対応 (本番稼働 予定日 : 2021 年 9 月 21 日) 適用予定	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.1. 内容 東京商品取引所における先物取引が収録対象に含まれる旨を追記。 ・ 2.3. 提供回線・提供プロトコル ISDN 回線、全銀ベーシックを削除。 ・ 3. ファイル仕様 ●文字コード 選択可能な文字コードから EBCDIK を削除。 ・ 4.1. 提供レコード TOPIX 配当指数先物等の取引休止対応についての記載及びフレックスオプション銘柄が収録対象外である旨を削除。 ・ 4.2. データ項目 (1)銘柄レコード 項番 9. 取引所コード 「TCM : 東京商品取引所」を追記。 項番 14. 限月 (回記号コード) 「フレックス銘柄の場合、限日を設定する。」を追記。 ・ 新商品追加等に伴い、別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」を更新。
2022 年 2 月 7 日公 表 (LNG 先物追加 : 2022 年 4 月 4 日適 用予定)	2.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙 「大阪取引所データ提供」を「大阪取引所・東京商品取引所データ提供」に変更 ・ 別紙_商品取引識別、識別コード、酒類コード一覧 商品分類に LNG 先物を追加
2022 年 4 月 4 日 (JPX 総研対応)	2.4	<ul style="list-style-type: none"> 1. 目的 東京証券取引所の記載を JPX 総研に変更 5. 本仕様書に関するお問合せ (株)JPX 総研 クライアントサービス部に変更

日付	バージョン	内容
2023 年 5 月 29 日適用 (OSE 商品追加対応)	2.5	<p>4.2. データ項目</p> <p>(1) 銘柄レコード</p> <p>14. 限月 (回記号コード) について、日経 225 ミニ OP に関する説明に修正。</p> <p>・ 別紙_商品取引識別、識別コード、酒類コード一覧</p> <p>商品分類</p> <p>以下商品を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日経 225 マイクロ先物 ・ S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト指数先物 ・ FTSE JPX ネットゼロ・ジャパン 500 指数先物 ・ 日経平均気候変動 1.5℃目標指数先物 ・ 日経 225 ミニオプション ・ TONA3 か月金利先物 <p>商品分類から「日経 225Weekly オプション」を削除</p>
2023 年 11 月 6 日適用 (マザーズ指数先物名称変更)	2.6	<p>・ 別紙_商品取引識別、識別コード、種類コード一覧</p> <p>項番 5 商品分類</p> <p>東証マザーズ指数先物を「東証グロース市場 250 指数先物」に変更。</p>

以上